2013/04/15

【Chapter1 論点】

P1．L1.

Why study comparative education? The answers to this question are rich and varied, as we hope you will discover through this introduction to the field.

「何故比較教育学を研究するのか？今回の比較教育学へのイントロダクションを通して気づいて欲しいが、この問いに対する答えは多様かつ豊富である。」

班の意見

比較教育学の目的は政策科学に帰着するのではないか？

◆経緯

北村友人「政策科学としての比較教育学 : 教育開発研究における方法論の展開(<特集>教育学における新たな研究方法論の構築と創造)」教育學研究 78(4),2011,pp. 361-373

<http://ci.nii.ac.jp/naid/110009357184>

【論文】

・比較教育学研究

a)法則性・理論を導き出す側面

b)政策研究・評価研究という側面

→筆者は論文内でa)については扱わないでb)について論じていく。

・b)について

比較教育学は、様々な国・社会における教育理念・制度・実践に関しての知見を蓄積している⇒比較教育学は政策科学への志向性が強い。

【班で考えたこと】

・他にどのような志向性が考えられるのだろうか。

・a)について考察してみた。筆者はb)について論じていったということ＋b)において政策科学への志向性以外のものはないという理由から。

・a)を実践に移そうと考えると結局b)に繋がってしまう。

つまり、

**比較教育学の理論を考えた時、「政策科学としての比較教育学」に帰着してしまうのではないか。**

例：様々な研究でなぜ比較研究をしているのか考える。GPなど

①子どもの自殺が社会問題になっている。

②教育の面で解決策はないか。

③比較研究：アメリカのいくつかの州で自殺率が下がっていた。

→その州ではスクールカウンセラー制度が充実していた。

④日本のスクールカウンセラー制度を見てみた。

　→充実していなかった。

⑤以上から、日本ではスクールカウンセラー制度が機能していないことが

自殺率の下がらない理由の一つだ。

―ここまでの研究はa)―

⑥スクールカウンセラー制度を充実させよう

→政策面の改善を図る。

―ここまでがb)―

【論点】

なぜ比較教育学を研究するのか。その理由は多様かつ豊富であると本文中にあるが、結局のところ比較教育学の目的は政策科学に帰着するのではないだろうか。

この論点に対して肯定的意見、もしくは批判的意見を考えてきてください。

Ex)「比較教育学の目的は政策科学に帰着するというのはおかしいのではないか。比較教育学の目的は他にもある。例えば～～だ。」というような。